

図書館ガイダンスを受けて 入門ゼミ（松尾）

現代中国学部 小林 さゆり



今回、初めて図書館利用についての説明を受けました。大学内の図書館をまだ利用したことのない私達に、担当のスタッフの方々はとても親切に、分かり

やすく説明してくださいました。その説明により、愛知大学のどのキャンパスからでも、すべての本が自由に貸出でき、また愛知大学にない資料でも、他大学や国立国会図書館から取り寄せ可能であることなど、今まで以上に利用価値のある図書館であることをとても魅力的に感じ、本当に嬉しく思いました。

また、館内の施設の案内では、誰でも利用できる学習室、いつでも自由に使える多数のコンピュータ、莫大な種類と数の本など……。見学により、とにかく規模の大きさに圧倒されました。

最後は、コンピュータを使用し、自分の利用したい図書を検索し、実際に自分の手で見つけ出すという作業を行いました。まだ操作に慣れない私達でしたが、スタッフの方々の手を借りながらも検索し、何とか自分の手で探したい本を見つけることができました。

このガイダンスにより、今まで知らなかった愛知大学の良さを知ることができました。これから先、レポートの作成・読書・勉強にと様々なことで図書館を利用することになると思います。その時には、大いに活用していきたいと思っています。

最後にスタッフの皆さん、貴重な時間を使いガイダンスを開いてくださってありがとうございました。今回のガイダンスが今後に役立っていくことを期待し、更になんぼしていきたいと思っています。



私と図書館

文学部 大橋 雅世



私にとって図書館はなくてはならない場所です。

小さい頃から本を読むことが好きだった私は、小学校から高校に至るまで、絵本や小説を好きにだけ読むことができる図書館が大好きで、放課後は毎日のように通っていました。そんな私が愛知大学に入学し、四年が経ちましたが、今では図書館を「趣味の場」として利用すると共に「学ぶ場」としても利用しています。

日本文学のゼミに入り、源氏物語の表現の研究をテーマに学んでいる私にとって、底本や専門的な資料は研究を進める上で欠かせないものです。その点でリザーブ図書のコーナーはとても有効なシステムだと思います。貸出しはせず、各教授が指定した専門書を参考室に配架し、自由に閲覧することができます。手軽に専門書を利用できることで研究対象を身近に感じ、学ぼうという意欲が増していくのを身をもって感じています。

また、図書館内にメディアコーナーがあることで、図書館の資料から得られた情報を即座にパソコンに打ち込むことができたり、雑誌記事や新聞記事などをオンラインでできる環境が整えられているので効率的に情報収集ができ、とても便利です。

それに、公共図書館や他大学の図書館と比べ通常の開館時間が長いことはとても有難いことだと思います。しかし、夏休みなどの長期休暇中の半分以上が休館というのは少し残念に思います。自主学習に長い時間を費やすことが可能な期間に図書館の資料や設備を利用することができれば、学習の能率も上がり、意欲的な研究活動ができるように思います。

私は文学の他に、二年間勉強した甲斐あって卒業時に図書館司書の資格を取得見込みです。それは、私が本が大好きで図書館が大好きだったから成し得たことだと思っています。私にとって図書館はなくてはならない場所です。今までもこれからも。